

つながる力



辺野古土砂全協第5回総会 in 沖縄

5月26(土)～28日(月) 沖縄市で開催

スケジュールと行事

◆5月26日(土)

13:00 那覇空港 集合
直ちにフィールドワーク
行先 読谷戦跡めぐり 泡瀬干潟
南風原陸軍壕跡

18:30～20:30 懇親会
会場：NBC プライダルセンター
(沖縄市内)

会費：3,700円

◆5月27日(日)

09:30～12:00 第5回総会
12:30～16:30

その土砂ストップ! 沖縄集会
— 命の海に基地はいらない —

☆海勢頭豊さんコンサート
(ジュゴン保護キャンペーンセンター代表)



☆第一部 北上田毅さん講演会

(沖縄平和市民連絡会共同代表)

「辺野古新基地建設事業の現状と問題点」

☆第二部 全国港湾からの特別報告(要請中)

☆第三部 各地からの報告

☆まとめと提言

湯浅一郎さん(辺野古土砂全協顧問)

会場はいずれも、沖縄市民会館中ホール

◆5月28日(月)

08:00～15:00 オプショナルツアー
沖縄市民会館前出発→本部港視察→辺野古
座り込み→沖縄市民会館→那覇空港

≪連絡・問合せ先≫

・本部町島ぐるみ会議(阿波根 090-9783-5926)

・辺野古土砂全協(松本 090-3638-0187)

※ 詳しくは同封の参加申込書をご覧ください
申込みはFAXで 093-571-7567 八記まで

—目次—

≪沖縄≫ 辺野古への石材搬出 本部町の現場から	仲宗根須磨子	2ページ
≪沖縄≫ 石材搬出のための本部町塩川港の港湾施設使用取消求め沖縄県へ要請書		3ページ
≪東京≫ 17.12.13 辺野古新基地建設中止求め防衛省交渉&院内集会	中山敏則	4ページ
≪福岡≫ 福岡県・北九州市との要請交渉が「福岡山口土砂会議」に発展	八記久美子	6ページ
≪香川≫ 18.1.29 香川県と要請交渉 さらに歩をすすめよう	大谷正穂	7ページ
1.18～21 山城博治さん 四国三県で講演		8ページ
≪沖縄≫ 辺野古新基地工事海域に活断層か?	17.10.25 琉球新報 WEB版	9ページ
「辺野古移設再検証、ゼロベースで見直す」公約の実現を求め立憲民主党へ要望		10ページ
≪沖縄からの便り・その7≫ 名護市長選、投票者の6割「新基地反対」	浦島悦子	11ページ
インフォメーション 第三次署名提出&防衛庁交渉、3月中旬にも		12ページ

※写真提供…阿波根昌信・緒方静男・中山敏則・八記久美子・松本宣崇

辺野古への石材搬出 沖縄・本部町の現場から

本部町島ぐるみ会議共同代表（本部町会議員） 仲宗根 須磨子

昨年突然の「本部港（塩川地区）から辺野古への石材搬出か？」という報道記事に目を疑った。国際クルーズ船の入港地として、町としてどう受け入れ態勢を整えていくか、取り組みに向け話し合いがスタートしたばかりである。観光の町として栄えていこうとする矢先に、基地建設に加担？町には美ら海水族館があり、年間 360 万人もの観光客が訪れる。町の中を流れる満名川、日本唯一のカルストの山々。そして世界でもプエルトリコとここにしかない塩分を含む水が湧き出る塩川がある。

まさにその塩川のすぐ近くにある本部港・塩川地区（以下、塩川港）から辺野古へ石材が運ばれるというのだ。

書類を作成し、さっさと辺野古への石材搬出を認めたのである。

かたや、港内の荷捌き地では認められない建造物の設置や、一民間企業の作業場として使用させていること等について、何の指導も改善指示もなく放置し継続させているのだ。

昨年 12 月の町議会定例会で、町長は「自分の権限と責任において許可した」と答弁した。「町民に説明もなく話し合う姿勢も見せず、一方的に許可することが責任ある行為なのか」と問うと、「法令を遵守し適正に判断した」とのこと。町民に真摯に向き合うこともなく町民不在の判断で、一方的に許可したことが公平・公正とは言えない。まだまだ追及することはたくさんある。

安部の海岸へのオスプレイ墜落、高江の牧草地への CH53 不時着・炎上、緑ヶ丘保育園への CH53 からの落下物、普天間第二小学校への CH53 の窓枠落下、その後も不時着、落下物のオンパレード。辺野古への石材搬出を許可することは、こういう基地から派生する事件・事故の恐怖と犠牲を、今以上に後世の子どもたちにまで押し付けることだ。

今、塩川港では、機動隊に暴力的に排除され、強制的に拘束されながらも必死に阻止行動を続ける仲間たちがいる。子や孫のため、そしてこれから生まれてくるであろうたくさんの命とその人権を守るため、豊かな自然をこの子らに残してゆくため、あきらめない。頑張ろう。（18.2.22 記）

奥港―辺野古海域はジュゴン¹の回遊が確認されており、批判回避のため、本部からの搬送は主に南回りになっている。



琉球新報 WEB 版 2017 年 11 月 10 日 06:30 を元に作成
<https://ryukyushimpo.jp/news/entry-611137.html>

本部町島ぐるみ会議のメンバーは、何度も町長に面会を求めたが、およそ一か月間出張を理由に会ってもらえなかった。そのうち、町長が辺野古への石材搬出のための岸壁使用許可申請書に、ハンコを押してしまった。しかもこの一か月の間に、建設課や港湾事務所に足を運ぶ中で、塩川港の使用に関するあらゆる違法行為が発覚したのである。そのひとつが、塩川港の岸壁使用許可を今まで全て口頭で済ませていたことである。それを指摘されて、一か月の間に、町は審査基準を作って



18.2.15 本部港で抗議する！（撮影：阿波根昌信さん）

昨年 11 月明らかになった、沖縄防衛局が辺野古埋立て用石材の海上輸送のため申請した、沖縄県管理の国頭村奥港、本部町塩川港の港湾施設使用許可の取り消しを求め、県知事に要請しました。

2017年11月14日

沖縄県知事
翁長 雄志 様

要 請 書 (抄録)

辺野古埋立て用石材の海上輸送のための 奥港及び本部港の港湾施設用地使用許可の取り消しを求めます

辺野古土砂搬出反対全国連絡協議会

私たちは沖縄県内の石材を海上搬送するとの報道に接し、驚きと同時に怒りでいっぱいです。県内国頭村奥港、本部港塩川地区から、10 トンダンプ 300~400 台分の石材を一気に海上輸送で、辺野古に搬送するというのです。業者から提出された港湾使用許可申請には、国頭村では石材の搬送先は「辺野古沖合」とされ、本部町では使用目的が「シュワブの護岸工事のため」と明記されているとのことです。

この石材が辺野古新基地をつくるために運ばれることを県も本部町も承知したうえで許可を出してしまいました。県管理の国頭村奥港の岸壁使用許可、港湾施設用地使用許可、並びに本部町本部港塩川地区の岸壁使用と荷捌き地使用許可は、ゲート前の県民の命をかけた闘いに沖縄行政が敵対するものです。

沖縄県港湾管理条例には、第 7 条「港湾施設を使用するものは、知事の許可を受けなければならない」、第 7 条の 2「知事は前項の許可をするに当たり必要な条件を付することができる」、そして沖縄県の「港湾施設使用許可にかかる審査基準等」には「環境を悪化させる恐れがないこと」と規定されています。

国頭村奥港は、安倍政権が「世界自然遺産登録を目指す」とした「ヤンバルの森」に近接し、また、奥港は、昨年 4 月環境省が公表した「生物多様性の観点から重要度の高い海域」の海域番号 14802 に面し、本部港は極めて近接しています。この海域は、言うまでもなくジュゴンの生息・回遊が確認されている海域です。

このような地域において海上搬送のため数百台のダンプが往来することは、「環境を悪化させる恐れ」があり、審査基準に抵触することは、もはや疑う余地はありません。今回の許可は、この審査基準にも抵触していることは明らかであり、取り消されるべきです。

さらに、本部町は岸壁利用許可の手続きを行っていませんがこれは県条例に違反しています。

そして持ち出された土砂は、生物多様性に富んだ辺野古の海をつぶすのです。貴職の許可判断は、そうした全体を容認することになり、「生物多様性おきなわ戦略」や、ひいては「生物多様性国家戦略」に違背する行為を容認してしまうことは明らかです。

加えて、石材の海上搬送は、「傾斜堤護岸の基礎捨石等の石材の陸上搬送」と明記された、埋立て承認願書に添付の「環境保全に関し措置を記載した図書」(6-1-3)の変更であり、埋立て承認の際の留意事項 4 に基づき知事の承認が必要です。

沖縄県として、奥港及び本部港の岸壁や港湾用地を基地建設に使わせないように求めます。

沖縄県として、「港湾施設使用許可にかかる審査基準等」に則り、港湾管理委託先・本部町に対し厳格かつ適正なる指導を強く求めます。

間違った判断で出された、国頭村奥港の港湾施設用地使用許可を即刻取り消すよう重ねて要請するものです。

以上

か入れない。入ったとしても、海上保安庁が待ち構えている。カヌー1隻に対して5、6人乗った海保のボートが向かう。このように、阻止行動は大変厳しい状況がある。それでもみんな頑張っている。カヌーを漕ぎ懸命に阻止行動を続けている」



■「搬入土砂の高温処理を試験中」 ～ 防衛省が回答 ～

集会のあとは交渉である。防衛省は、新基地建設工事に用いる石材を海上輸送するとの方針を示した。海上輸送の目的として環境負荷の軽減や作業効率の向上をあげている。北上田さんは、「11月に奥港から台船で石材を運搬した際は、ダンプ50台分の陸揚げをするのに1日かかっている」と指摘した。また、海上輸送は作業効率の向上にもならないうえ、国頭村の奥港が海上輸送に使われることから同村奥地域の静かな環境を破壊して環境負荷を増大させる、と強調した。海上運搬のための港使用に反対する決議を国頭村奥区が挙げていることに触れ、「海上搬送は止めるべき」と防衛省にせまった。

防衛省は交渉の中で、埋め立てに用いる西日本各地からの土砂の外来生物侵入防止対策として、高温処理を施してセアカゴケグモとアルゼンチンアリの生死判定試験を行なっていることを初めて明らかにした。埋め立てには約2100万 m^3 の土砂が必要とされ、北上田さんは「全てを高温処理するには膨大な時間と費用がかかる」と指摘した。



交渉後のまとめで、山城博治さんがこう訴えた。

「2100万 m^3 の土砂のうち1枚分ぐらいの土砂にドライヤーみたいなもので100度の熱を加えたら外来生物は全て死んだ。だからOK

である。そのような議論にされかねない。膨大な量の搬入土砂の外来生物侵入対策をどうするかという議論をつめよう。そのことを地元の県知事などに伝え、無害の土砂を沖縄に搬入することは不可能ということを訴える。そして、全国各地から土砂を沖縄に搬送することを止めさせる。そのような運動を進めましょう」

全国自然保護連合と日本湿地ネットワークの事務局長中山敏則氏のご厚意で、「全国自然通信」135号(全国自然保護連合機関誌 2018年1月刊)掲載の論稿を転載させて頂きました。写真はいずれも中山氏提供。

2017.12.29 琉球新報

県外の土砂熱処理実験

辺野古埋め立て 防衛省が認める 外来生物の対策

名護市辺野古の新基地建設で、沖縄防衛局は県外から搬入する埋め立て土砂の外来生物混入防止対策について、高温処理で死滅させる実験をしていることが28日分かった。本紙の取材に、防衛局は既にアルゼンチンアリなど種類の特定期外来生物を対象に実証実験していることを認めた。

県外土砂は最大で10トン、約300万台分(約1644万立方メートル)が持ち込まれる計画で、全てをくまなく処理できるのか、さらに膨大な費用も想定されるため、実行性が問われる。防衛局の外来生物対策が明らかになったのは初めて。防衛省が13日、都内で

あった交渉で平和市民連絡会の北上田毅さんらに明らかにした。「シユフブ(H27)水域生物等調査」業務の一環で、アルゼンチンアリとセアカゴケグモの2種類を飼育し、一定期間の高温処理後に生死を確認する実験を実施中という。

例のない量の土砂が持ち込まれるため、外来種が紛れ込んで沖縄固有の生態系を破壊する恐れが指摘されている。2013年に前知事が公有水面の埋め立て申請を承認した際、審査に最も時間を要した項目。だが、最終的に防衛局は対策を明らかにしないまま、環境監視委員会からの助言を得て進める」としていた。

県は15年、県外土砂の外来生物対策をチェックするため「県外土砂搬入規制条例」を制定し、搬入90日前までの届け出を事業者が義務付けた。防衛局は一届け出の時期は現時点で決まっていないとしている。(社会部・篠原知恵)

「標的の村」「戦場ぬ止み」三上智恵監督
新作ドキュメンタリー製作開始！
三上智恵・大矢英代共同監督作品

「沖縄裏戦史」(仮題)
製作協力金カンパ・応援の願い

2018年春完成予定

振込先：郵便振替 00190 - 4 - 673027

加入者名：沖縄記録映画製作を応援する会

問合せ：TEL 03-5919-1542

Fax 03-5919-1543

Eメール：info@okinawakiroku.com

福岡県・北九州市への要請行動が、 「福岡山口土砂会議」に発展

「辺野古埋め立て土砂搬出反対」北九州連絡協議会事務局 八記 久美子

■福岡県と北九州市に要請

辺野古土砂北九州は、昨年の11月と12月に、福岡県と北九州市に対し、土砂搬出に係る要請行動を行いました。要請内容は、「沖縄県から要請があった場合には協力してほしい」など、3項目です。

■思わぬところに大きな成果が

福岡県と北九州市からの回答を一言でいうと、「沖縄県から要請がない現時点では、具体的なことは言えない」という想定されたものでしたが、この一連の行動は、私たちに大きな成果をもたらしました。

その一つは、自治体行動が出来た事。私たちが自治体に働きかけたのは、今回が初めてでした。二つ目は、議員と行動できたことでした。県の場合は高瀬菜穂子県議に同席して頂きました。北九州市の場合は3会派から、讃井早智子市議・高橋都市議・出口成信市議・村上さと子市議・柳井誠市議・山内涼成市議（アイウエオ順）に参加して頂きました。

特に北九州市の要請行動の時には、「要請だけにとどまらず、情報交換や意見交換の場にした」と提案したため、議員からいろいろな話が出されました。私たちが「えっ!」という情報も

ありました。1期目の議員からは、「知らない話もあり、勉強になった」との感想を頂きました。

■3月に下関で会いましょう

辺野古土砂北九州では、「山口のこえ」と共同で、3月17日に山口県下関市において、福岡・山口の議員と市民グループの「第1回情報交換と懇談会のつどい」（通称:福岡山口土砂会議）を開催します。福岡では33人の議員に案内を出しました。

この企画を提案してくれたのは、山口のこえの大谷正穂さんです。山口のこえと辺野古土砂北九州は、沖縄防衛局の資料では同じ「門司地域」に入っています。

■戦争しない国をめざして

今沖縄だけでなく、日本中で米軍の基地化が進んでいます。辺野古新基地建設反対の運動は、私たち日本国民が、平和な暮らしを手に入れるための、「国民」対「国家権力」の闘いの主戦場の1つだと思っています。辺野古の問題は、沖縄だけの問題ではありません。九条を骨抜きにさせない闘いとともに、戦争しない国・戦争に手を貸さない国を目指して、足元の運動を頑張りしたいと思います。



2017.12.13 当局5名・議員6名・当会6名で行われた、北九州市との要請行動

1月29日 辺野古埋立て土砂搬出問題で香川県と要請交渉



さらに歩をすすめよう！

「辺野古に土砂を送らせない！」山口のこえ 大谷 正穂

1月29日、香川県庁で土砂全協などと県との交渉が開かれました。字数の関係で外来生物侵入に関する沖縄県との協力をふれた部分を報告します。県交渉には、仲介頂いた高田良徳県議と土砂全協、香川連絡会そして小豆島の皆さん、計11名が参加しました。



18. 1. 29 香川県と要請交渉



18. 1. 29 香川県に要請書を手渡す阿部共同代表

◆ 関係自治体の協力出揃う

これまで香川県は、協力について「仮定の問題であり検討していない」と市民グループなどに言ってきました。今回は一転、「内容を確認の上、所管する法令等に基づいて対応を検討します」と文書で回答しました。行政の連携がうたわれている「地方自治法」に従えば、こう答えるのは当然でしょう。これで山口県、長崎県、熊本県、福岡県、北九州市、香川県と調査協力についての態度が出揃いました。

既に鹿児島県は那覇空港拡張工事に関する埋立土砂問題で沖縄県職員の調査を受け入れた実績が

あります。さすがにどの自治体も「検討しない」との返答はありません。「出来ることには真摯に対応する」（山口県）、「協力する体制をとる」（長崎県）、「国と協議し対応を検討する」（熊本県）、「一切協力できないとは言えない」（福岡県）、「要請があれば検討します」（北九州市）。沖縄県の外来生物侵入防止条例に土砂搬出自治体を協力させようの私たちの初期の目的は、果たしたと言えるでしょう。次は自治体に誠実に協力させるように大衆的な力で迫ることです。

◆ 「公共の福祉」を問う

「採石法」は戦後5年目に制定された、本土の戦後混乱期に産業復興を目的にした事業育成の性格をもつ法律です。が、第一条には「事業の健全な発達を図ることによって公共の福祉の増進に寄与することを目的とする」とあります。この国は高度経済成長を経て産業は発展しました。一方で公害が起き、自然や環境の破壊が進んでいます。それに対応する法整備もありました。それらは「公共の福祉」のためです。

その目で採石法の目的を読み直してみます。法律制定当時、関係者は外来生物など考えてもいなかったでしょう。しかし今は外来生物拡散防止を国が国際的に約束する時代になりました。ここになにかヒントがある気がします。提案、意見などお願いします。

写真と文 **高江が潰された日**

沖縄平和サポート・2017. 12. 26刊 全58頁

頒価：1500円＋税（送料別）

購入先 一般社団法人沖縄平和サポート

TEL 0980-55-2244 Fax 0980-55-2245

山城さんとともに軽微な罪で起訴された稲葉博さんが立ち上げた沖縄平和サポートの初刊行本！

ヒロジ

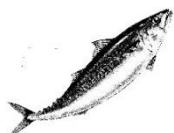
1,18~21 山城博治さん 四国三県で講演

沖縄平和運動センター議長・山城博治さんには、超ハードな日程で連続講演をして頂いた。

1月18日夜、高松市での公演を皮切りに、翌日19日は早朝から小豆島採石場を視察、午後には列車で松山市に移動、夜に講演、そして20日には伊方原発ゲート前での「伊方原発再稼働反対集会」に参加し発言、午後には乗用車で徳島に移動し、21日午後に徳島市で講演を行って頂いた。

松山市での講演では、基地・軍隊を許さない行動する女たちの会共同代表・高里鈴代さんも沖縄から駆けつけ、ともに「平和のために国民が連携して、声を上げ続ける大切さ」を熱く訴えた。

18.1.20
愛媛新聞



「沖縄の今を語る」をテーマにした講演会(愛媛・沖縄ゆいまーる主催)が19日、松山市堀之内の市民会館であった。「基地・軍隊を許さない行動する女たちの会」の高里鈴代共同代表と、米軍普天間飛行場(沖縄県宮野湾市)の名護市辺野古移設への抗議運動を続ける「沖縄平和運動センター」の山城博治議長が登場。平和のために国民が連携

平和の声上げ続けよう 松山で講演会「沖縄の今を語る」



辺野古移設など沖縄の現状について話した高里鈴代共同代表(左)と山城博治議長=19日夜、松山市堀之内

し、声を上げ続ける大切さを訴えた。高里さんは、1995年の米兵による少女暴行事件をきっかけに、政府が沖縄

の基地負担軽減を表明したにもかかわらず、負担過重になっている現在の憂えた。現在まで性暴力被害は続いているとし「辺野古移設や軍事力拡大を防ぐ世界をみんなでつくらないといけない」と呼び掛けた。山城さんは、沖縄県・与那国島への陸上自衛隊駐屯地創設などに危機感を示し「国を守ることは、戦争ではなく知恵を結集すること。国を守るために平和を語る努力をしよう」と若者に伝えなければならぬ」と述べた。四国電力伊方原発の反対運動にも触れ「沖縄の基地反対運動と本質は同じだ。みんな本音は同じなのに声を上げない」と指摘した。(宇都宮理恵)



18.1.18 高松市での山城さん講演会
100名を超す参加で超満員



18.1.19 朝8時に土庄港着 早朝から小豆島の皆さんとともに採石場(左写真)を見上げる山城博治さん

辺野古新基地工事海域に

活断層

識者が
危険性
指摘

昨年10月、三重県津市での講演で、奥間政則さんが話された辺野古新基地工事海域の活断層の疑い（つながる力10号掲載）、海底の琉球石灰岩の軟弱地盤とともにとんでもない話です！

琉球新報 WEB 版 2017年10月25日 06:30より
<https://ryukyushimpo.jp/news/entry-601331.html>

名護市辺野古の新基地工事海域に「活断層」が存在する可能性があることが24日までに分かった。防衛庁（当時）が2000年に作成した「代替施設建設協議会」資料中の「海底断面図」で50m近く沈下した落ち込みがある場所が記されている。琉球大学名誉教授の加藤祐三氏（岩石学）は「落ち込みが比較的新しい時期にできていれば、海底に活断層が伸びている可能性がある」と指摘した。新基地予定地近くの陸上部には「辺野古断層」「楚久断層」という2本の断層が存在する。その断層の延長線が海底の急に深くなる谷や斜面部分につながっている。さらにその先に防衛庁が示した落ち込み部分が重なっている。活断層は過去に地震を起こした形跡があり、将来も地震を起こす可能性がある断層で、基地建設の場所に適するか疑われる。25日で辺野古での護岸工事着手から半年を迎えた。

防衛庁作成資料では、長島から中干瀬に至る「琉球層群」と呼ばれる地層が50m以上落ち込んでいる。防衛庁も「基盤中の断層によると考えられる落ち込み」と記しているが活断層か否かの記述はない。

沖縄防衛局は工事海域の活断層の有無について

24日琉球新報の取材に対し「文献などによると北部で目立った活断層は確認されていない」と答えた。工事海域の地盤の安全性については「調査中であり、確定的に申し上げることは困難」だとした。

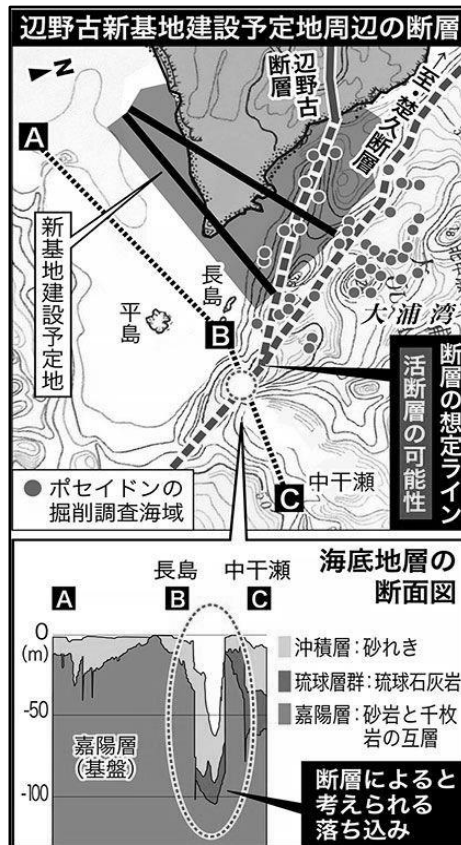
50m以上の落ち込みが確認された琉球層群は、琉球石灰岩を含む地層で、数十万年前かそれよりも新しい時期に堆積したとみられる。加藤氏は「新

しい時期に断層が動いたのなら、今後も動く可能性があり、海底に活断層が走っている可能性がある」と指摘した。

陸上2断層（辺野古、楚久）は「名護・やんばるの地質」（名護市教育委員会発行）で、「活構造」に分類されている。活構造は数十万年前かそれよりも新しい時期に活動したことを意味し、加藤氏は「陸上2断層も活断層の可能性があると分析した。

防衛局は2～4月、大型特殊船「ポセイドン」で工事海域での地質調査を実施したが、いまだ結果を公表していない。

加藤氏は「活断層の可能性を否定するならば、国は早急に調査資料を公表し説明すべきだ」と話した。また、工事海域には、空洞が多く軟弱性が指摘される「琉球石灰岩」も分布している。加藤氏は「いかにしっかりした基礎工事をして直下で活断層が動き地盤がずれれば、上にある施設は破壊される」と危険性を指摘した。（仲井間郁江）



「辺野古移設再検証、ゼロベースで見直す」公約の実現を求め
立憲民主党に要望



立憲・辺野古アクション実行委員会の呼びかけに、55団体と261名が要望書に賛同！
辺野古土砂搬出反対全国連絡協議会、そして全協に参加する「辺野古埋め立て土砂搬出反対」北九州
連絡協議会・環瀬戸内海会議や、辺野古土砂搬出反対首都圏グループが団体として、そして熊本連絡会、
海の生き物を守る会などの個人会員が多数、賛同人として名を連ねました。

要 望 書

立憲民主党代表
枝野幸男 様

2018年1月17日

立憲・辺野古アクション実行委員会
TEL:03-3363-7561 FAX:03-3363-7562

「辺野古移設再検証、ゼロベースで見直す」という選挙公約の実現を

衆議院選挙後、立憲民主党の代表、枝野幸男氏は以下のように述べました。「我々が永田町の内側を向いて、永田町の権力ゲームに右往左往するのではなく、あくまでも国民の側を向いて、国民のみなさんとともに歩む」。貴党を支持する市民は、枝野代表のこの言葉を党の基本的なスタンスとして貫いて欲しいと考えていると思います。

しかし今、立憲民主党が党の拡大をはかるため、政策の一致をみないまま野合することを私たちは懸念しています。参議院民進党サイドから、立憲民主党、希望の党との連携が働きかけられていると報道されています。また、元民進党の議員で「無所属の会」を立ち上げた岡田克也氏は記者会見にて、「立憲民主党と希望の党と協力していくことが重要だ。『無所属の会』として両党の結節点になる役割をしっかりと果たしていきたい」と述べています。

私たちは「辺野古移設について再検証をし、沖縄県民の理解を得られる道をゼロベースで見直す」ことを選挙公約に掲げた貴党の行動に期待をしています。希望の党はもとより、民進党は残念ながら沖縄辺野古基地建設に対してはその立場を明確には示していません。政策がまったく異なる政党の議員が合流することで、「辺野古移設再検証、ゼロベースで見直す」という公約を掲げた貴党の立場が後退することを私たちは恐れています。今後、貴党が党の拡大をはかりながらも、永田町の権力ゲームに右往左往せず、「辺野古移設再検証、ゼロベースで見直す」という選挙公約を果たすことを強く要望するものです。

■呼びかけ人

中村利也（辺野古への基地建設を許さない実行委員会） 川名真理（沖縄への偏見をあおる放送をゆるさない市民有志） 野平晋作（ピースボート） 福田唯一（辺野古リレー ～辺野古のたたかいを全国へ～） 藤田五郎（差別・排外主義に反対する連絡会） 加藤宣子（Stop!辺野古埋め立てキャンペーン） 浦野薫（ゆんたく高江） 芦澤礼子（沖縄平和ネットワーク首都圏の会有志） 宮平真弥（流通経済大学法学部教授） 花輪伸一（沖縄環境ネットワーク） 大仲尊（沖縄一坪地主） （順不同）

沖縄からの便り
《連載 No.7》
いちやりば
ちよーでー

2月4日 名護市長選挙 安倍自公政権 対 名護市民 投票者の6割「新基地反対」

選挙に
名を借りた
国家犯罪

ヘリ基地いらぬ二見以北十区の会 浦島悦子

「安倍自公政権対名護市民」のたたかいと言われた名護市長選挙（2月4日投開票）は、自公推薦の渡具知武豊氏が約3500票差で、「海にも陸にも新基地は造らせない」公約を貫いてきた現職の稲嶺進氏を破って当選した。名護市民は基地を受け入れたのか？ 否、出口調査で投票者の62%、そして渡具知氏に入れた人の24%が「新基地反対」と答えているように、市民意思はほとんど変わっていない。最大の争点であった基地問題で民意は反映されなかったのだ。

20年前、新基地建設の是非を問う名護市民投票（1997年12月21日実施）で示された「新基地NO」の市民意思に反して比嘉鉄也市長（当時）が基地受入れを表明し辞任。直後に行われた出直し選挙以来、名護市長選挙は今回で6回を数えた。そのたびに有権者5万人足らずの小さな地方都市の選挙に、時の政権が総力を挙げて介入する異常事態が繰り返されてきたが、今回はその異様さが突出していた。それは、期日前投票数（21,622）が当日投票数（15,522）を6000票以上も上回った前代未聞の事態にもはっきり表れている。「国策」である辺野古新基地建設を阻む稲嶺市長を何としても潰すという国家権力の意思と、その恐ろしさをひしひしと感じさせられた。

安倍自公政権のやり方は巧妙を極めた。選挙前に、市民・県民の大多数が反対する新基地建設に向けた工事を加速して「あきらめ感」を誘い、外堀を埋めた。「どうせ造られるのだから、もう苦しむのはやめて楽になろうよ」と囁いた。

自公推薦の渡具知氏は新基地建設問題に一切触れない「争点隠し」を徹底。公開討論会などの要請もすべて断り、政策論争を避ける一方、稲嶺市政の8年間の実績を打ち消すように「失われた8

年」「停滞」「閉塞感」などのネガティブキャンペーンを繰り返した。

自民党幹部や現職大臣が次々と応援のため名護入りしたが、彼らは表には出ず企業回りに徹し、ふんだんなカネを使って水面下でさまざまな工作を行った。菅官房長官は「うちのような小さな会社にまで？」と経営者が驚くほど徹底的に市内各企業に電話を入れた。公明党は広い名護市域の隅々にまで全国動員した運動員を送り込み、甘言、強要、誘導などあらゆる手段を駆使して、人々を期日前投票所へ運んだ。唯一、表の役割を担った小泉進次郎氏は告示以降2回も名護入りし、街頭演説会に集まった若者たちをそのまま期日前投票所へ誘導した。

警察は、稲嶺陣営を公職選挙法の厳格な適用によって締め付ける一方、渡具知陣営の違反は野放しにした。

圧倒的な権力・金力・組織力によって民意が捻じ曲げられた今回の選挙を、「選挙に名を借りた国家犯罪」だと私は言いたい。11月の沖縄県知事選で同じ手口を使わせないために、そして今後の各種選挙や国民投票も見据えて、名護市長選とは何だったのか徹底検証が必要だ。その教訓を踏まえ「まともな」選挙を取り戻さなければ、民主主義も地方自治も死んでしまう！



2018.2.5 名護市長選翌朝の辺野古ーたくさんの人がゲートに座り込んだ（撮影・名護市在住の緒方静男さん）

辺野古埋立て用土砂採取計画の撤回を求め 第三次署名提出 & 防衛省交渉

2018年3月中旬 (現在、日程調整中)



署名活動にご協力いただいた市民の皆様にあらためて感謝申し上げます。

皆様の署名活動へのご協力を得て、これまで2015年10月に第一次提出、52,429筆、2016年11月に第二次提出、41,470筆、合計93,899筆を提出してきました。

3月中旬に、第三次署名提出と防衛省交渉を、国会議員会館で行う方向で、日程調整中です。

お手元にお持ちの署名、辺野古土砂全協事務局（署名用紙記載）までご郵送下さい。

署名集約期限：3月12日（月）必着

そして、第三次署名提出と防衛省交渉にぜひご参加下さい。参加ご希望の方は、辺野古土砂全協事務局（松本 携帯 090-3638-0187 E-mail nmatchan@ms8.megaegg.ne.jp）までご連絡下さい。

「第1回情報交換と懇談会のつどい」

日時 3月17日(土)14時～16時
場所 下関市民活動センター 大会議室
JR下関駅東口徒歩4分
下関市竹崎町4丁目4番2号
ヴェルタワー下関2階

内容①辺野古新基地の工事の進捗状況と今後の計画
②沖縄の土砂搬出の現状と、両地区の活動報告
③情報・意見交換 他

共同主催 辺野古土砂北九州・山口のこえ

【連絡先】八記…kanpanerura8k@mail.goo.ne.jp
080-1730-8895

大谷…masaho1954@gmail.com

環瀬戸内海会議 第29回総会

藤岡義隆さん調査の原点に学ぶ
(仮称)

日時 6月16(土)～17日(日)
場所 広島県呉市
詳細は環瀬戸内海会議事務局まで
(松本 090-3638-0187)

2018年度会費のお願い

間もなく土砂全協も4年目に入ります。2018年度団体・個人会費のお納めをお願いします。

振替口座 01750-8-144158

名義 辺野古土砂搬出反対全国連絡協議会



■ 編集後記

◎ (松本) 辺野古埋立て用土砂搬出計画に、採取地各県で行政の姿勢を質す私たちの行動が進められ、県の姿勢に少し変化の兆しも。とはいえ、法も沖縄県との合意も無視して石材の海上搬送を強行する沖縄防衛局。辺野古・大浦湾の「命の海」に思いを馳せる姿勢は微塵もない防衛省に怒り心頭！

《辺野古土砂搬出反対全国協議会ニュース》

発行責任者…全国連絡協議会共同代表 大津幸夫 (自然と文化を守る奄美会議)

阿部悦子 (環瀬戸内海会議) hibi_etsuko@yahoo.co.jp

編集…松本 宣崇 (環瀬戸内海会議) nmatchan@ms8.megaegg.ne.jp

八記久美子 (門司の環境を考える会) kanpanerura8k@mail.goo.ne.jp

連絡先…愛媛県今治市別宮町9-7-4 阿部悦子 Tel090-3783-8332

その土砂ストップ！沖縄集会 -命の海に基地はいらない-
 辺野古土砂搬出反対全国連絡協議会
第5回総会 in 沖縄《参加申込書》

- 黒のボールペンで、読みやすい字でお書きください。
 ○申し込みはFAX でお願ひします。



FAX 番号・・・093-571-7567 ヤツキ (八記久美子宅)

- 申し込みをいただいた方には、FAX か携帯のショートメールで受付完了の連絡を差し上げます。1週間たっても連絡がない場合は、080-1730-8895 八記まで。

お名前				団体名	
ご住所	〒	都府県			
携帯番号				FAX 番号	
Eメール					

下記の中から参加するプログラム等をお知らせください

希望するものに○を付けて下さい ↓

日にち	内容		時間	出発地・会場	参加費	申し込み
5月26日 (土)	フィールドワーク	①読谷戦跡めぐり(20名)	13時00分	那覇空港 到着ロビー	2000円	
		②泡瀬干潟(20名)			2000円	
		③南風原陸軍壕(20名)			2000円	
	懇親会		18時30分	NBCプライダル センター	3700円	
5月27日 (日)	第5回全国総会		9時30分～ 12時	沖縄市民会館 中ホール	1000円 (資料代等)	
	昼食のお弁当				500円	
	講演会・報告会		12時30分～ 16時30分		1000円	
5月28日 (月)	本部港視察～辺野古座り込み～ 沖縄市民会館～那覇空港		8時～15時	沖縄市民会館	200円 (雑費)	
	昼食のお弁当				500円	
お支払いは5月26日(土)の懇親会受付で 合計金額						円

※申し込みの締め切りは、4月30日(月)です。

注…宿泊先は各自でご予約下さい。なお、土日は宿が取りにくいので、早めの予約をお勧めします。